

# 平成26年度決算の概要

平成27年5月



すべてを地域のために

**東邦銀行**

---

# 目次

## 福島県の復興と成長

- 1 . 福島県の現状 .....2
- 2 . インフラの整備・県内地価動向.....3
- 3 . 企業立地・産業の動向.....4
- 4 . 産業の集積.....5

## 平成26年度決算の概要(単体)

- 1 . 平成26年度決算の概要(単体).....7
- 2 . 総預かり資産の状況 .....8
- 3 . 貸出金の状況 .....9
- 4 . 福島県内の預金・貸出金シェア .....10
- 5 . 有価証券の状況 .....11
- 6 . 資金利益の状況 .....12
- 7 . 役務取引等収益(手数料収益)の状況 ...13
- 8 . 貸出資産の質 .....14
- 9 . 経営の健全性 .....15
- 10 . 株主の皆さま方へ.....16

## 平成26年度の取組み

- 1 . 地域の復興支援、起業・創業支援への取組み・18
- 2 . 多様な資金ニーズへの対応と海外マーケットへの進出支援.....19
- 3 . 事業再生支援・事業承継支援.....20
- 4 . 個人のお客さまへの取組み.....21
- 5 . 個人ローンの取組み.....22
- 6 . 店舗戦略と新たなATM戦略.....23
- 7 . 他行・他業態との連携.....24
- 8 . 独自の研修体系「とうほうユニバーシティ」.....25
- 9 . 若手と女性、ベテランとシニアの活躍支援...26
- 10 . 地域貢献・CSRへの取組み .....27

## 新中期経営計画「とうほう“サミット”プラン」

- 1 . 前中期経営計括の総括.....29
- 2 . 新中期経営計画の概要.....30
- 3 . 計画の体系.....31
- 4 . ふくしまの“復興から成長”への貢献...32~33
- 5 . お客さまから選ばれる銀行づくり.....34
- 6 . 持続可能な企業体質の確立.....35

# ・福島県の復興と成長

# 1 . 福島県の現状

## 東日本大震災からの復興が進む

	震災前(平成22年度)	震災直後(平成23年度)	現在(平成25年度～)
人口	人口 <b>202万人</b> (平成23年3月1日) 合計特殊出生率 <b>1.52</b>	人口 <b>197万人</b> (平成24年3月1日) 合計特殊出生率 <b>1.48</b>	人口 <b>193万人</b> (平成27年3月1日) 合計特殊出生率 <b>1.53</b> (平成25年度)
経済	県内総生産(名目) <b>69,765億円</b>  有効求人倍率 <b>0.45%</b> (平成22年度平均)	県内総生産(名目) <b>63,574億円</b>  有効求人倍率 <b>0.66%</b> (平成23年度平均)	県内総生産(名目) <b>72,776億円</b> (平成25年度) 有効求人倍率 <b>1.45%</b> (平成26年度平均)
産業	建設業 公共工事前払金保証実績 <b>748億円</b> 製造業 製造品出荷額等 <b>509百億円</b> 東北1位  観光産業 観光客入込総数 <b>5,717万人</b> 教育旅行宿泊者数 <b>67万人</b> 福島空港利用者数 <b>28万人</b>  農業 水稲収穫量 <b>44億t</b> 全国4位 農業産出額 <b>2,330億円</b>	建設業 公共工事前払金保証実績 <b>856億円</b> 製造業 製造品出荷額等 <b>432百億円</b> 東北1位  観光産業 観光客入込総数 <b>3,521万人</b> 教育旅行宿泊者数 <b>13万人</b> 福島空港利用者数 <b>21万人</b>  農業 水稲収穫量 <b>35億t</b> 全国7位 農業産出額 <b>1,851億円</b>	<平成25年度> 建設業 公共工事前払金保証実績 <b>3,617億円</b> 製造業 製造品出荷額等 <b>475百億円</b> 東北1位  観光産業 観光客入込総数 <b>4,831万人</b> 教育旅行宿泊者数 <b>32万人</b> 福島空港利用者数 <b>24万人</b>  農業 水稲収穫量 <b>38億t</b> 全国7位 農業産出額 <b>2,049億円</b>

(出所:福島県HP, 福島県県民経済計算、東日本建設業保証(株)福島営業所、福島労働局、農林水産庁農林水産統計)

## 2. インフラの整備・県内地価動向

### 交通網の復旧整備が進む

#### 国道6号線

平成26年9月15日 全線開通

#### 常磐自動車道

平成27年3月1日 全線開通

- ・広野 - 常磐富岡【再開通】(H26.2)
- ・相馬 - 山元間【開通】(H26.12)
- ・浪江 - 南相馬【開通】(H26.12)
- ・常磐富岡 - 浪江【開通】(H27.3)

#### 東北中央自動車道

(福島JCT(仮) - 米沢北IC間)

全線供用開始予定(平成29年度内)

#### 国道115号線 相馬福島道路

(常磐道相馬IC ~ 東北道福島北JCT(仮)間)

全線開通予定(平成30年度内)

#### JR常磐線

- ・広野 - 竜田間【再開】(H26.6)
- ・相馬 - 浜吉田 再開予定(H29春頃)



【福島民報 9月13日掲載記事】



【福島民友 3月2日掲載記事】

### 復興需要を背景に県内地価が上昇

#### 平成26年公示地価

- ◆県内地価上昇率 全国最大
- ◆いわき市の住宅地価上昇率は全国最大  
全国地価上昇率上位10地点独占

#### 【主な要因】

福島市 郡山市	・市街地の広範囲で宅地開発が活発化
いわき市	・被災者の移転需要 ・建設業など復興関連業者の進出により 土地価格上昇
会津若松市	・下げ止まり傾向

#### 【用途別地価平均変動率】

(%)

用途別		住宅地	商業地	工業地
主要都市	福島市	2.7	0.7	1.4
	郡山市	3.8	3.0	2.4
	いわき市	7.3	3.3	2.3
	会津若松市	1.5	0.1	0.0
県平均		2.9	0.8	1.7

出所:国土交通省

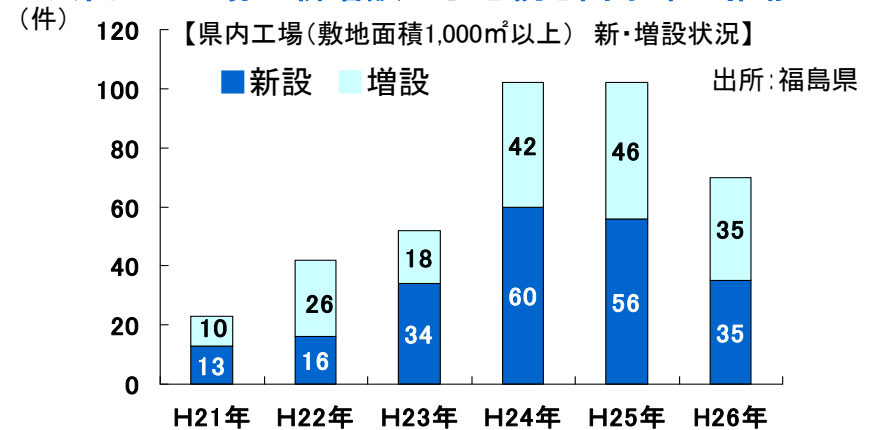
### 3. 企業立地・産業の動向

#### 企業立地動向

##### ◆企業立地補助金の後押し

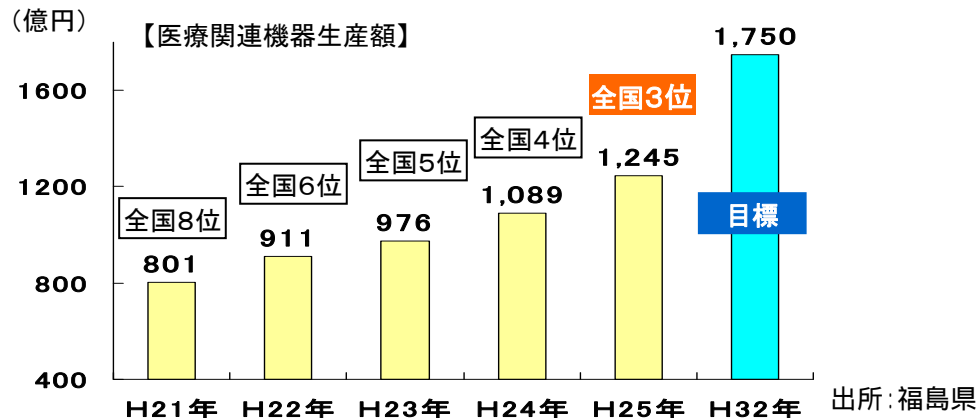


##### ◆県内で工場の新増設が引き続き高水準で推移



#### 製造業

##### ◆存在感を増す本県医療機器製造業

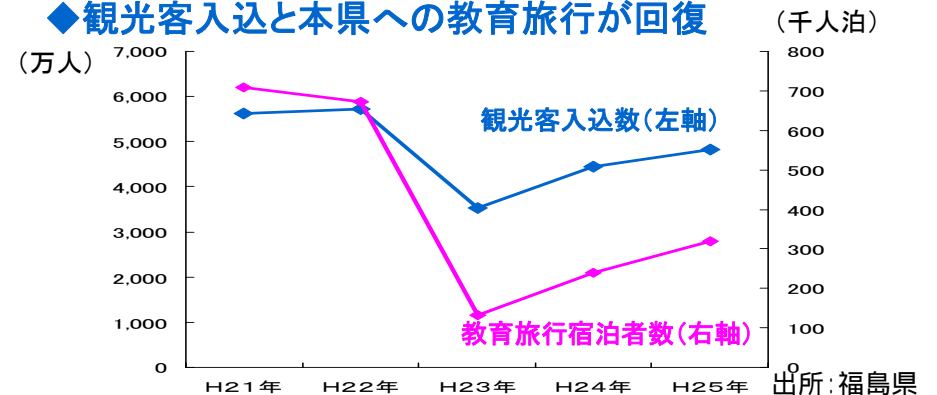


##### ◆全国随一の「ふくしまの酒づくり」

平成25年酒造年度 全国新酒鑑評会 金賞数 17 **全国1位**  
平成24年酒造年度に引き続き **2年連続 全国1位**

#### 観光産業

##### ◆観光客入込と本県への教育旅行が回復



##### ◆ふくしまデスティネーションキャンペーン(DC)

ふくしまプレDC(平成26年4月~6月)

ふくしまデスティネーションキャンペーン(平成27年4月~6月)

ふくしまア7ターDC(平成28年4月~6月)



# 4. 産業の集積

エネルギー関連・医療産業・アグリビジネス・ロボット開発等、研究開発・産業創出拠点の整備が進む



# 平成26年度決算の概要 (単体)



# 1. 平成26年度 決算の概要(単体)

当期純利益は前年度比8億円の増益となり98億円を確保。過去最高益を更新

(単位:億円)

	26年度 決算	25年度 決算	前年度比
<b>經常収益(売上)</b>	<b>644</b>	<b>614</b>	<b>+30</b>
コア業務粗利益	490	471	+19
資金利益	402	391	+11
役務取引等利益	85	75	+10
その他業務利益 (除く: 国債等債券損益)	1	4	△3
経費	378	368	+10
<b>コア業務純益(営業利益)</b>	<b>111</b>	<b>103</b>	<b>+8</b>
有価証券関係損益	37	34	+3
国債等債券損益	14	23	△9
株式等関係損益	18	13	+5
金銭の信託運用損益	3	△3	+6
信用コスト(与信関係費用)	△9	3	△12
その他臨時損益	10	10	△0
<b>經常利益</b>	<b>168</b>	<b>144</b>	<b>+24</b>
特別損益	△2	△1	△1
税引前当期純利益	166	143	+23
<b>当期純利益</b>	<b>98</b>	<b>90</b>	<b>+8</b>

## 平成26年度決算のポイント

### コア業務純益 (※銀行の本来業務で計上された利益)

- 資金利益**は、貸出金・有価証券残高ともに着実に増加  
市場金利の低下傾向は続いているものの、**前年度比増加**
- 役務取引等利益**は、預かり資産やAlwaysカード収益が寄与し  
**前年度比大幅増加**
- コア業務純益**は、資金利益および役務取引等利益の増加により  
経費の増加を吸収し、**前年度比増加**

### 有価証券関係損益

- マーケット環境に応じた機動的売買を行い、**前年度比増益**

### 信用コスト

- 経営支援の積極的な実施により、**信用コストの戻入益**が発生

### 經常利益、当期純利益

- 經常利益、当期純利益**ともに**前年度比増加**、**過去最高益更新**

### 業績予想との対比

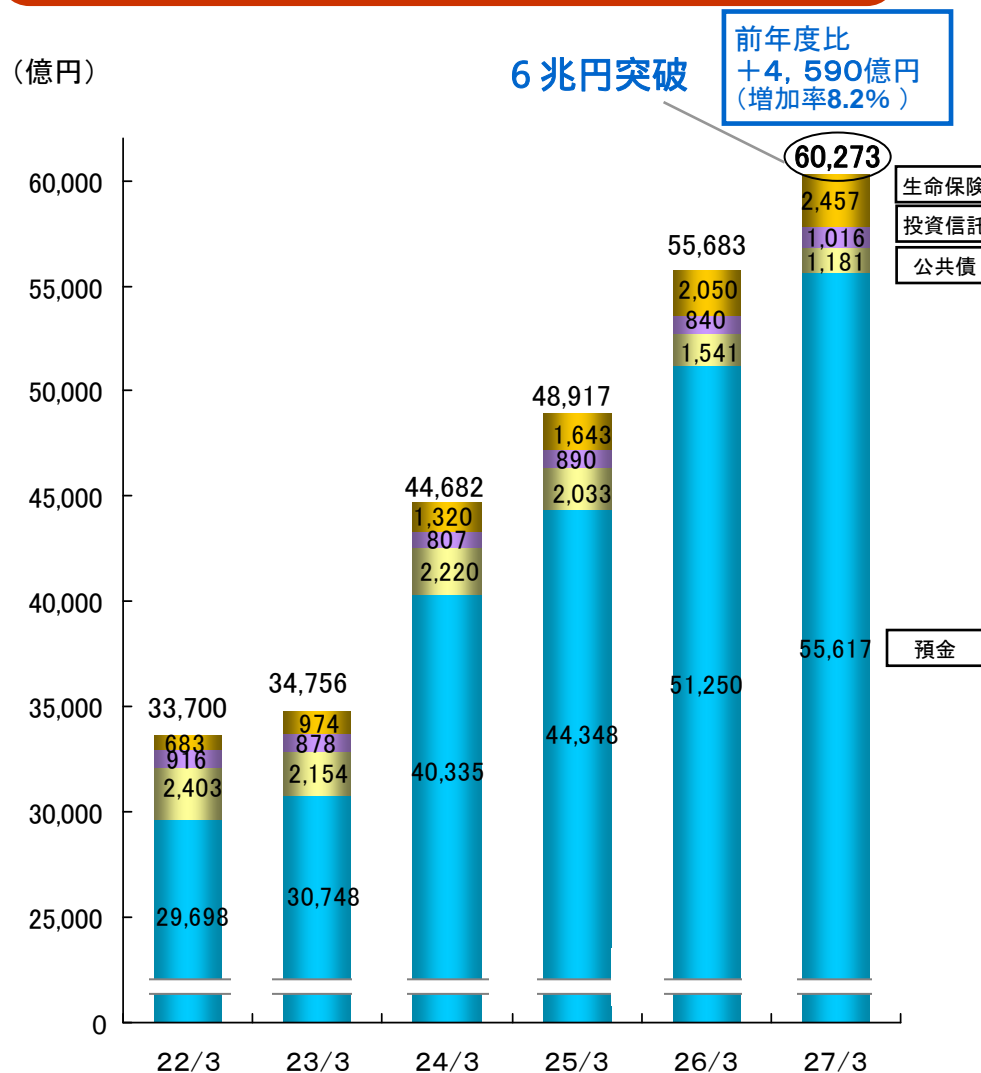
(単位:億円)

		平成26年度		
		業績予想	実績	達成率
単体	經常利益	140	168	120%
	当期純利益	85	98	115%
連結	經常利益	141	170	120%
	当期純利益	86	99	115%

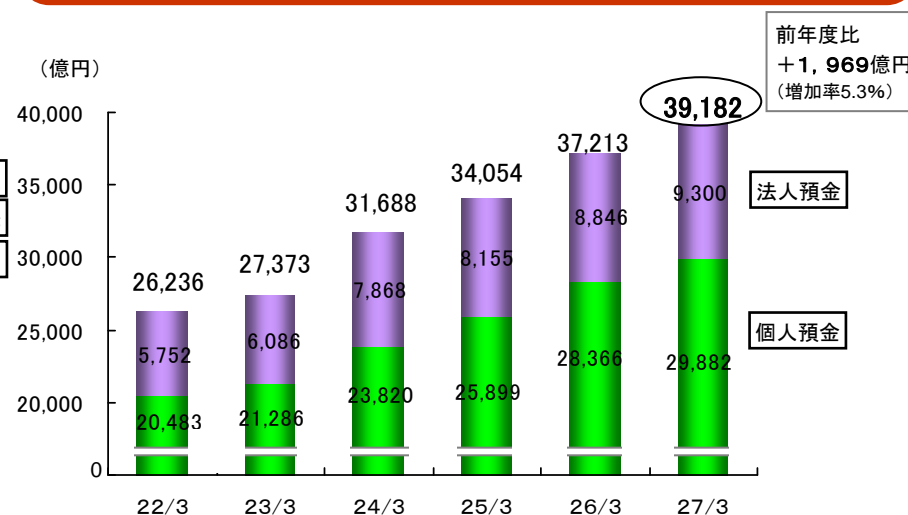
## 2. 総預かり資産の状況

総預かり資産残高は前年度比**4,590億円増加**(増加率8.2%)。うち**預金残高**(譲渡性預金含む)は前年度比**4,367億円増加**(増加率8.5%)  
**投資信託+生命保険**の残高は前年度比**583億円増加**(増加率20.2%)

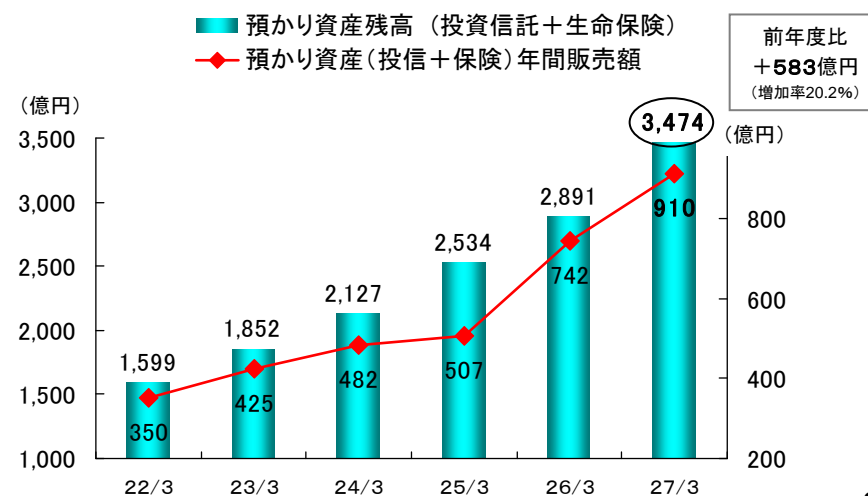
総預かり資産残高[預金+預かり資産]の推移



個人預金+法人預金の推移



預かり資産残高・販売額(投資信託+生命保険)の推移

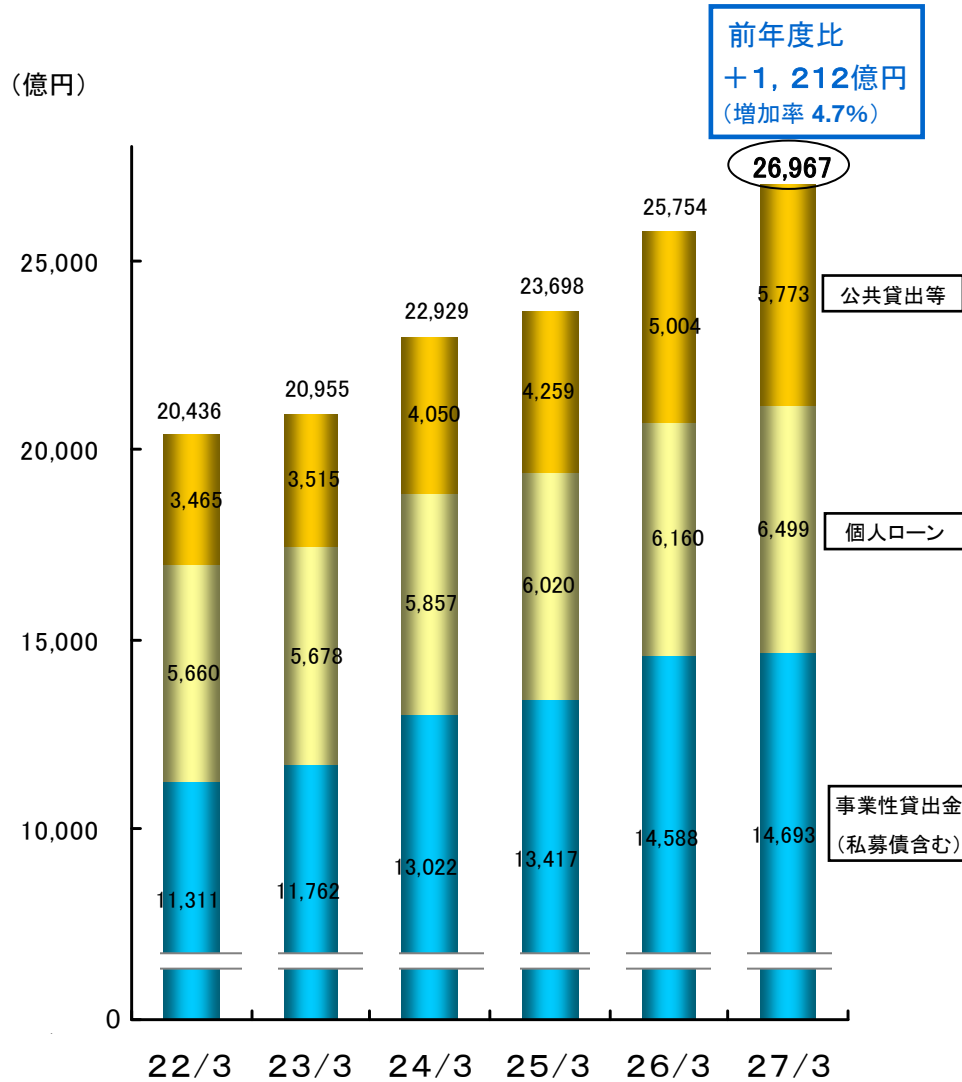


# 3. 貸出金の状況

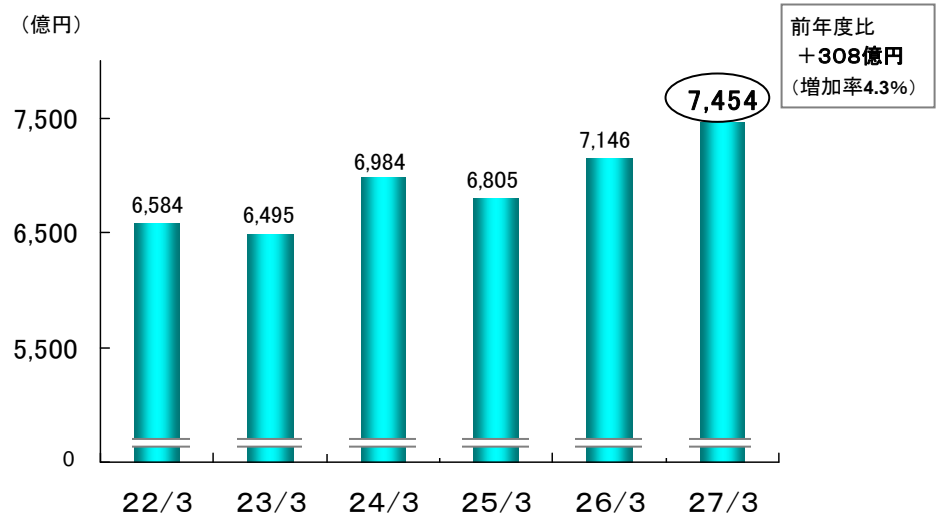
貸出金残高は前年度比1,212億円増加(増加率4.7%)

県内事業性貸出金・個人ローンともに前年度比で着実に増加

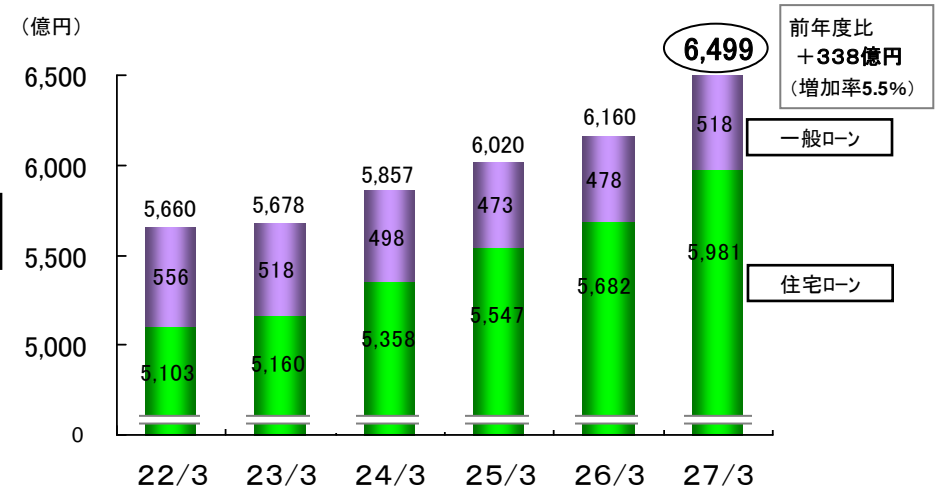
## 貸出金残高の推移



## 県内店舗事業性貸出金残高の推移 (私募債含む)



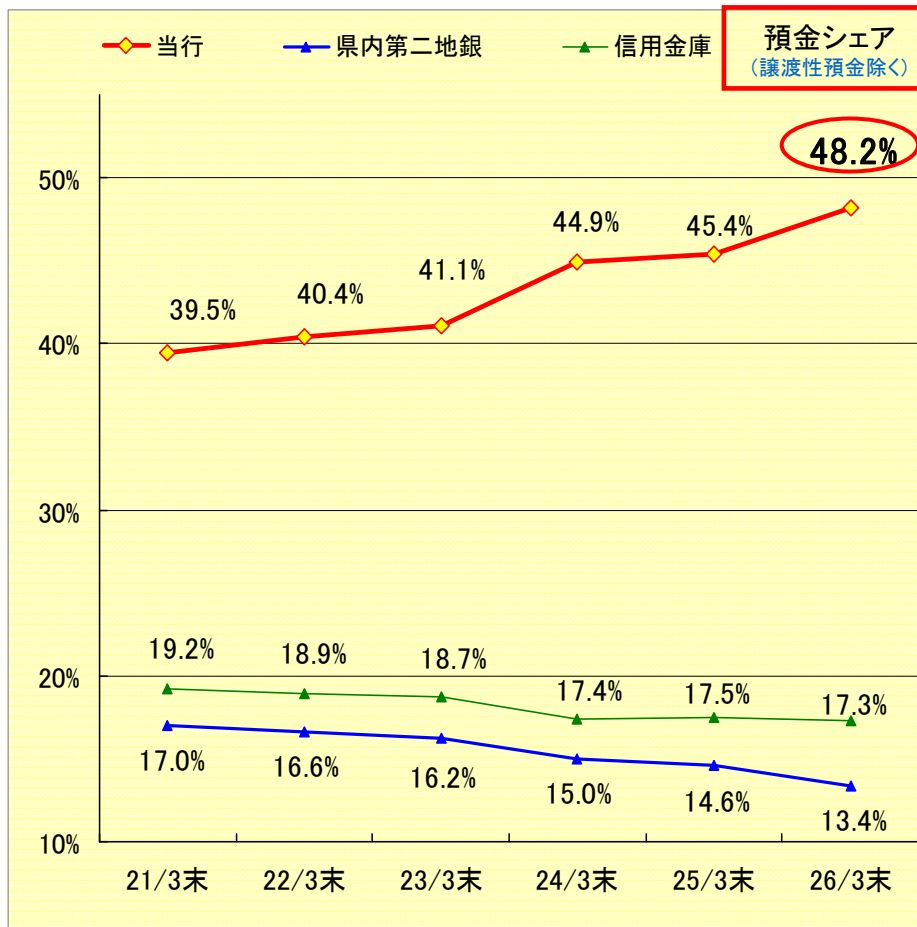
## 個人ローン残高の推移



# 4. 福島県内の預金・貸出金シェア

福島県内の預金シェアは着実に伸張し 48.2%  
 福島県内の当行私募債残高を含めた貸出金シェアは 40.5%

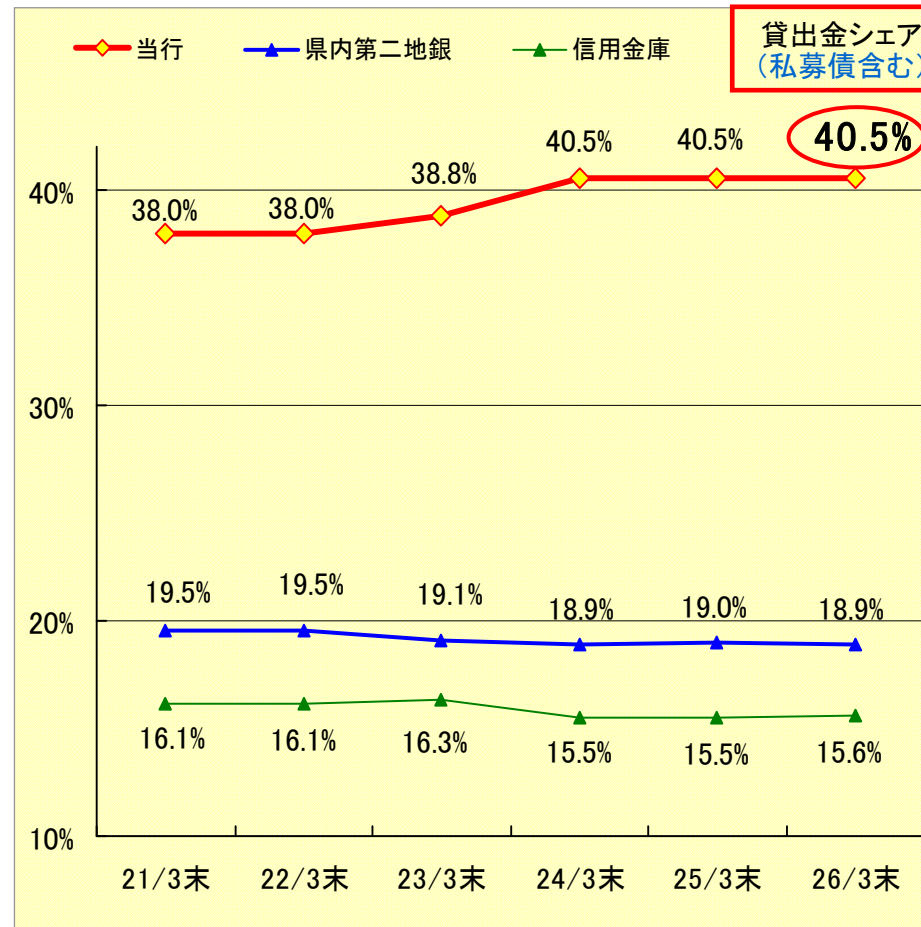
福島県内 預金シェアの推移



ゆうちょ銀行・農協を除く、本部預金含む、譲渡性預金除く

譲渡性預金残高(26/3末) 約4,000億円

福島県内 貸出金シェアの推移



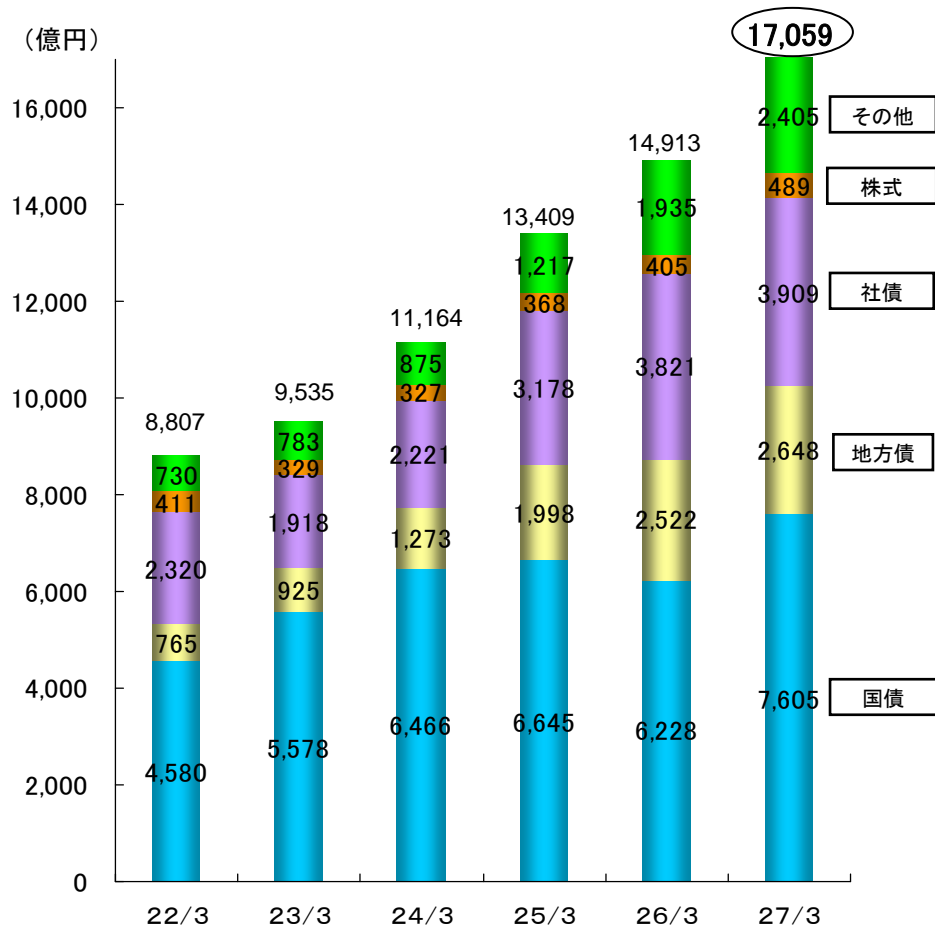
農協・政府系金融機関を除く、本部貸出含む

# 5. 有価証券の状況

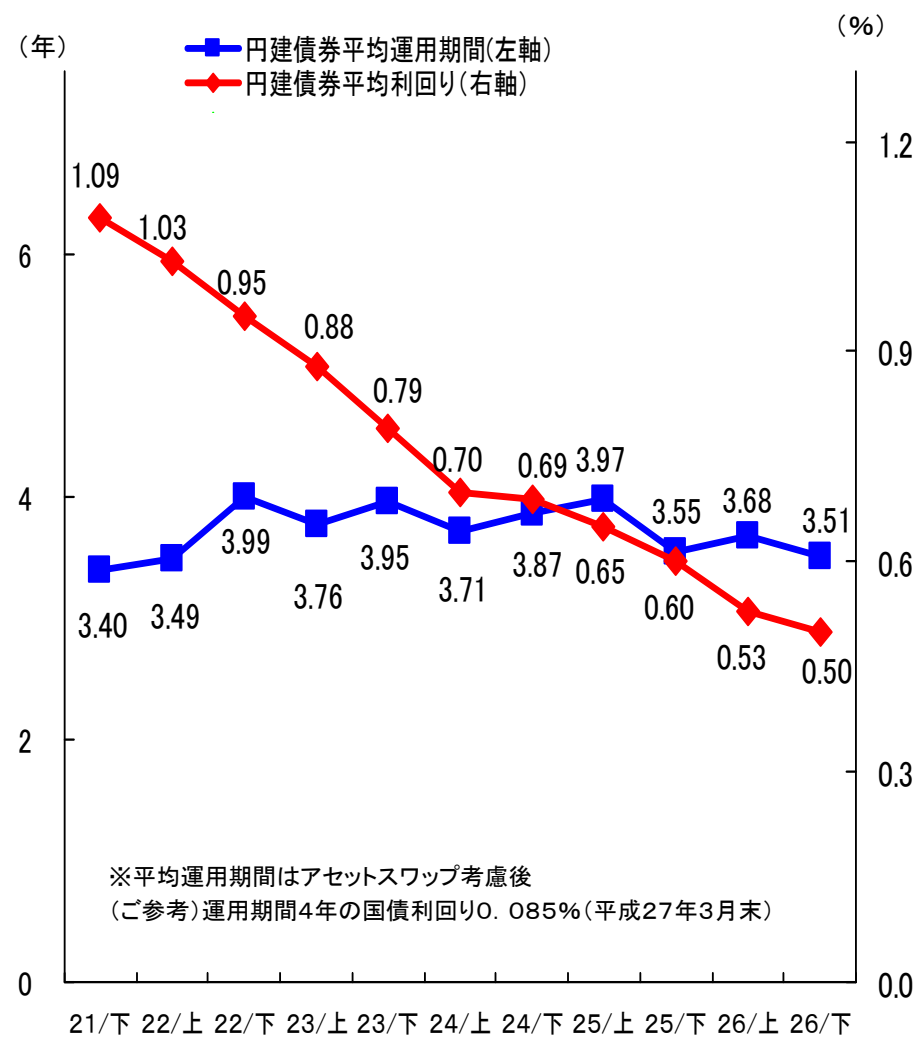
投資環境や市場動向に対応し、効率的な資金配分を実施。前年度比 **2,145億円増加** (増加率14.4%)

## 有価証券の構成推移

前年度比  
+2,145億円 (増加率14.4%)



## 円建債券平均運用期間・利回りの状況

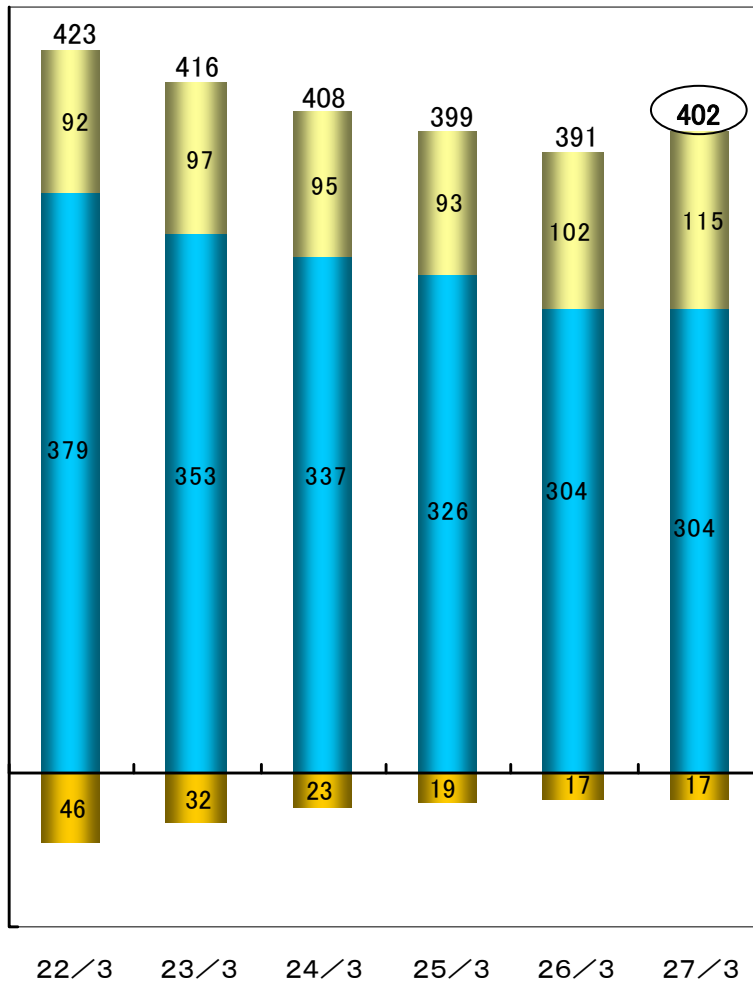


# 6. 資金利益の状況

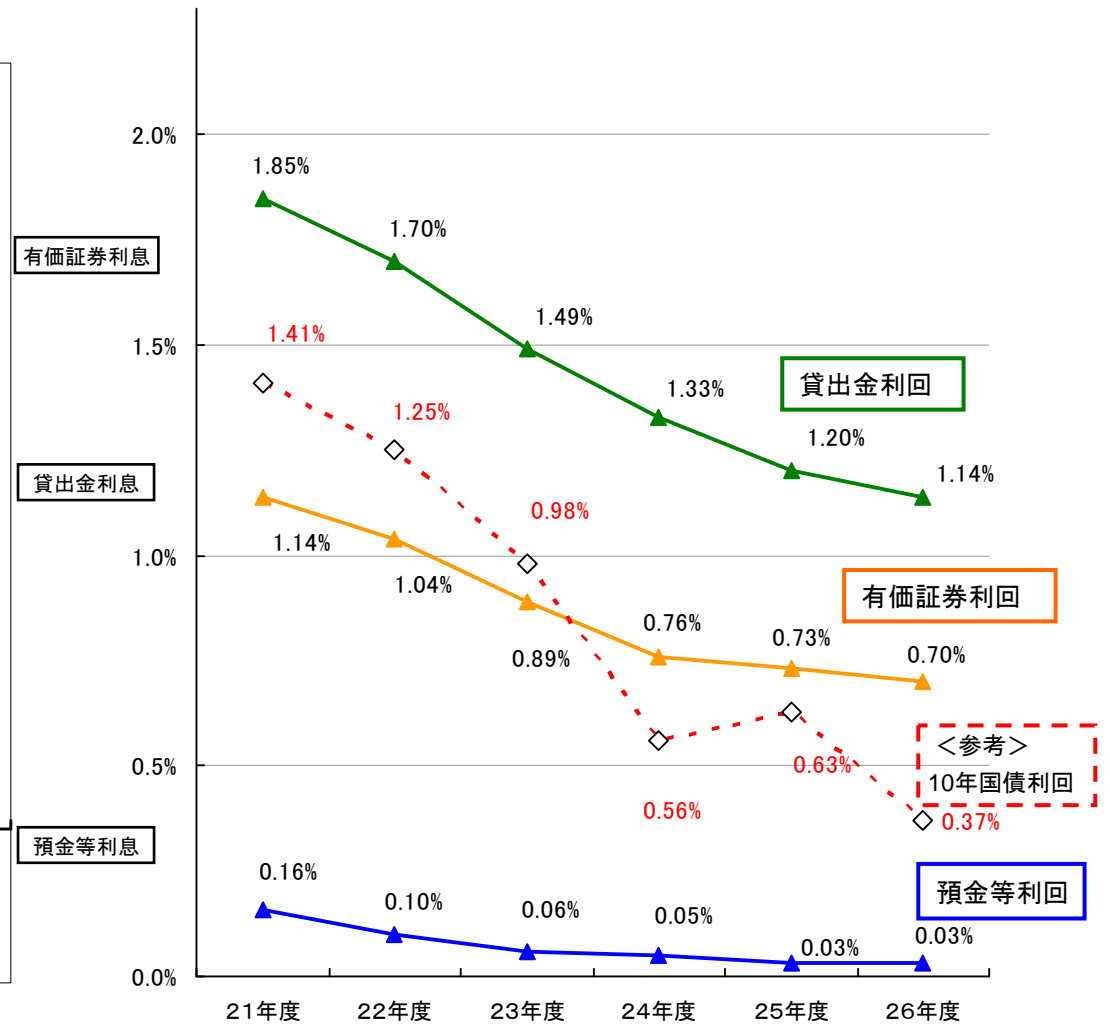
貸出金残高の増加や有価証券の効率的な運用により、前年度比 11億円増加

## 資金利益内訳

(単位: 億円)



## 利回りの推移



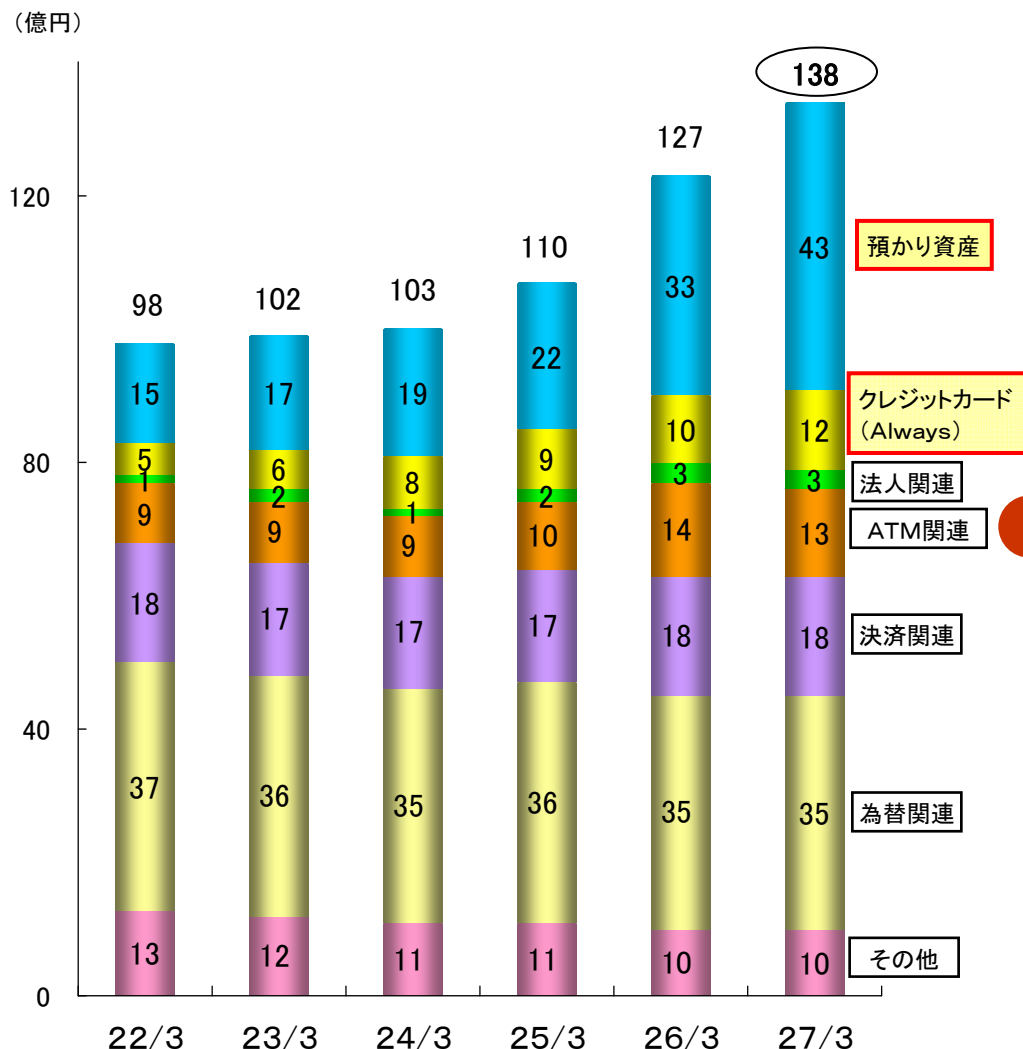
10年国債利回は、各年3月末日の利回



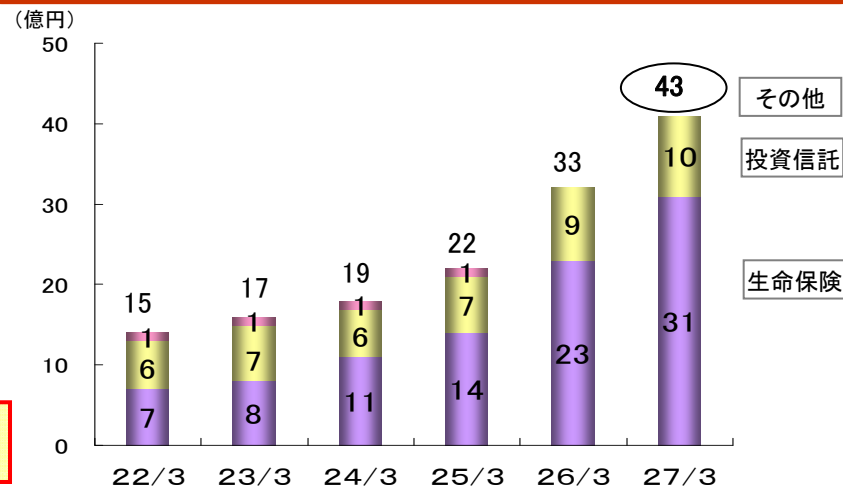
# 7. 役務取引等収益(手数料収益)の状況

預かり資産、クレジットカード手数料等の増加により、前年度比 10億円増収

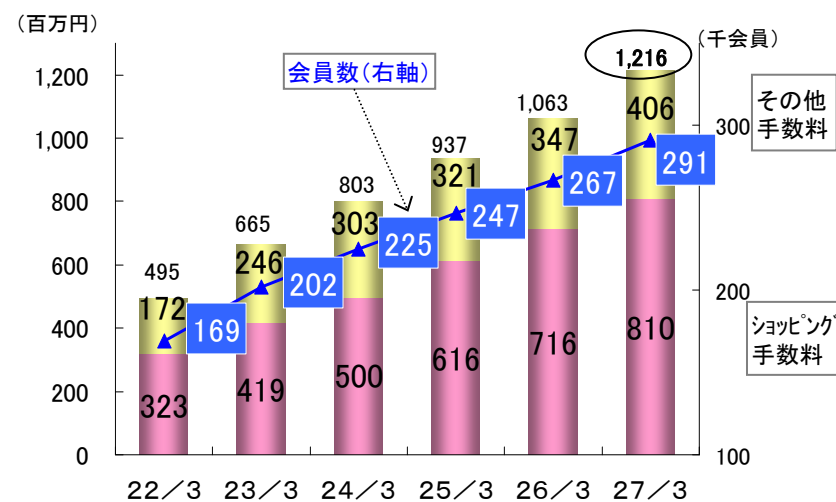
役務取引等収益の推移



預かり資産収益の推移



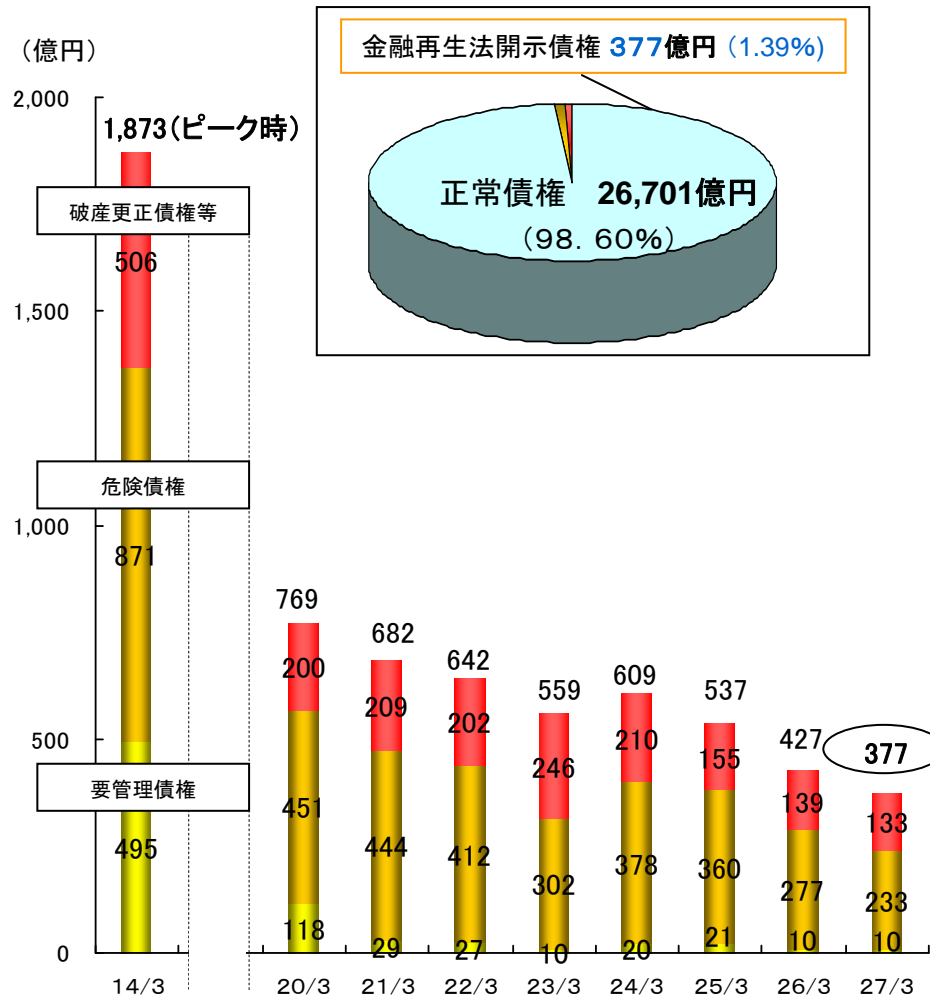
クレジットカード(Alwaysカード)関連収益の推移



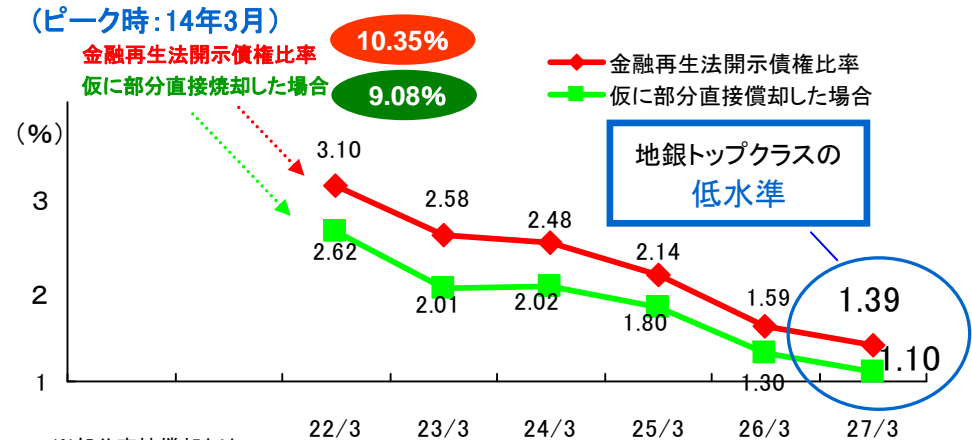
# 8. 貸出資産の質

金融再生法開示債権比率は1.39%まで低下(部分直接償却を実施した場合は1.10%) いずれも2%を切る低水準

## 金融再生法開示債権の推移



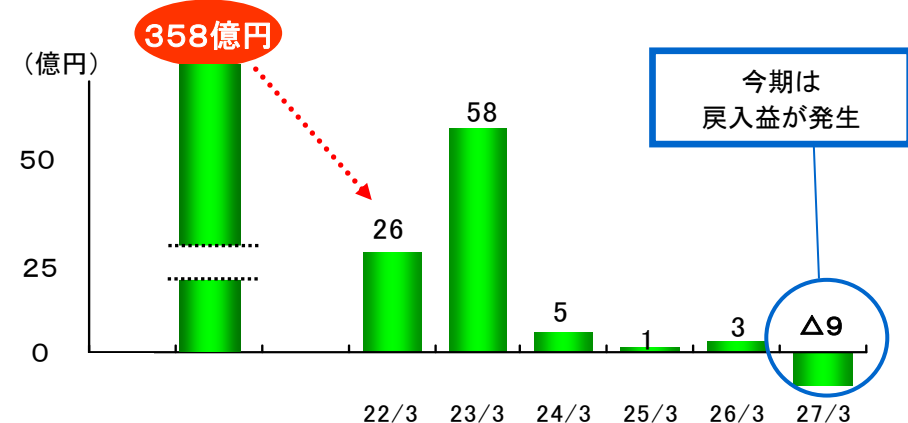
## 金融再生法開示債権比率の推移



※部分直接償却とは  
「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。

## 信用コストの推移

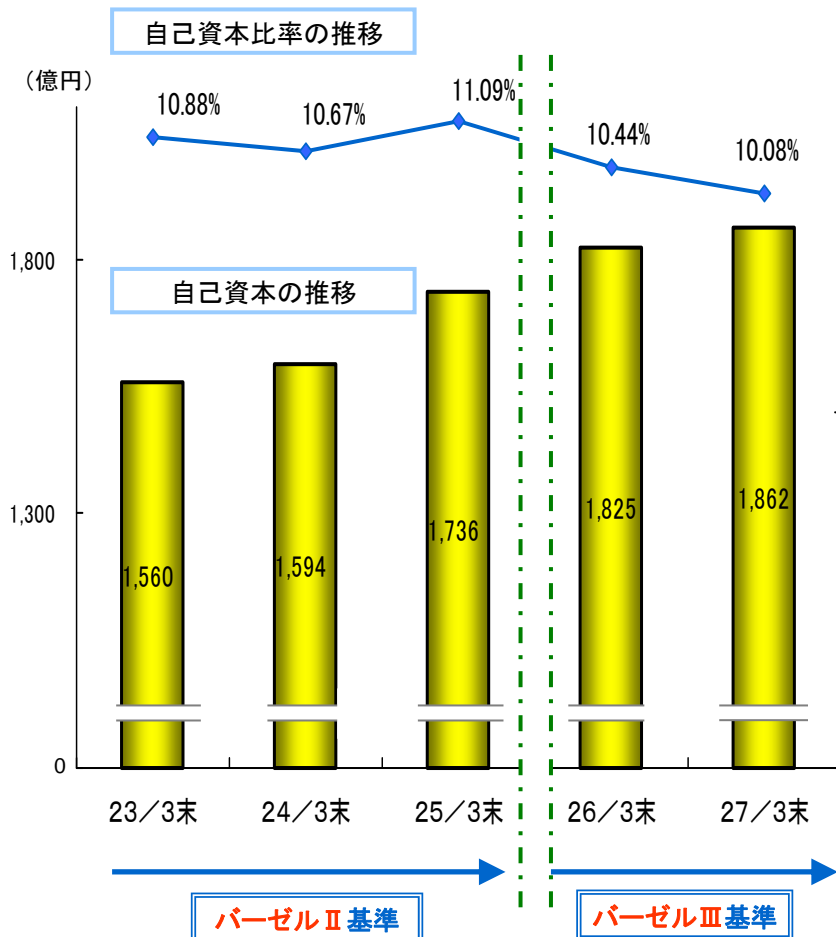
(ピーク時:13年3月)



# 9. 経営の健全性

資金需要に積極的に応じた結果リスクアセットが増加し、自己資本比率は前年度比0.36ポイント低下の10.08%。

## 自己資本比率の推移(単体)



(平成26年3月末より、バーゼル 基準(国内基準行向け)が適用)

## 自己資本の推移(単体)

(億円)

	26/3末	27/3末	増減
自己資本 (A)	1,825	1,862	+36
うち 負債性資本調達手段 (劣後ローン)(B) (注)	266	239	△26
リスクアセット等 (C) (各種調整後の総資産等)	17,484	18,466	+981
自己資本比率 ( $\frac{A}{C}$ )	10.44%	10.08%	△0.36%
中核的自己資本比率 ( $\frac{A-B}{C}$ )	8.91%	8.78%	△0.13%

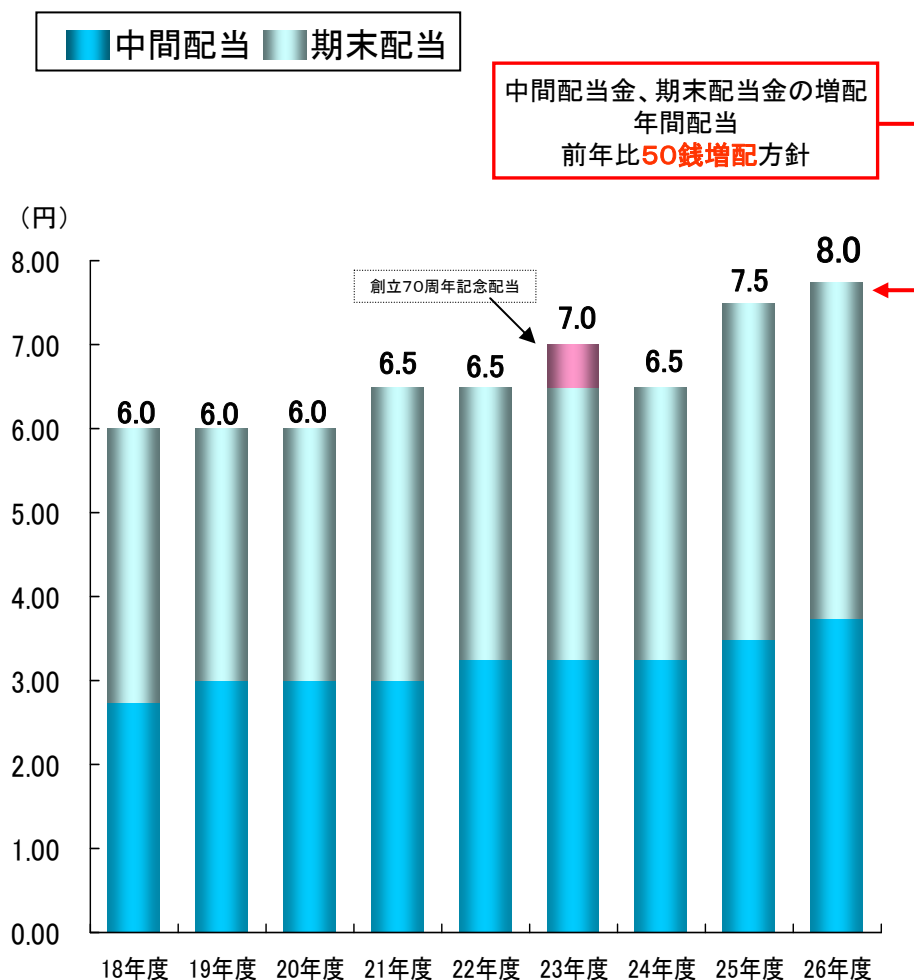
(注)27/3末の負債性資本調達手段は、経過措置により残高266億円の90%について自己資本に算入

●バーゼル 自己資本比率規制の水準(国内基準行は4%以上)を十分上回る。

# 10. 株主の皆さま方へ

内部留保の充実による健全性の向上を図りながら、業績の成果に応じ弾力的に株主の皆さま方へ利益を還元  
平成26年度は**50銭増配**し、1株あたり**年間8円配当**

## 1株あたり配当金



## 株主優待の充実

「株主さまご優待: ふくしまからの贈りもの」

ご優待品カタログより①、②のいずれかをご選択

### ①「福島県宿泊施設ご優待券」(ご利用可能施設220先)

保有株式数	ご優待券種
1,000株以上5,000株未満	3,000円
5,000株以上	5,000円

### ②「福島県の特産品」(計50品目)

福島県復興支援通販「うつくしま良品本舗」の人気商品を集め  
その中からお好みの品物をご選択



### 株主さまご優待定期預金

1年もの定期預金(預入金額 10万円以上300万円以内)に

**0.3%の金利上乘せ**を実施

### 「投資信託申込手数料無料」(平成27年7月より開始)

100万円まで店頭での投資信託ご購入にかかる申込手数料を無料  
(平成27年3月31日現在の株主名簿に記載された株主さまが対象)

# ・平成26年度の取組み

# 1. 地域の復興支援、起業・創業支援への取り組み

## 地域の復興支援

### ふるさと支援「在京福島県経済人の集い」の開催

- ◆首都圏で活躍する福島県出身の経済人と福島県知事や県内の市町村長、商工会議所会頭等が一堂に会する機会を提供
- ◆今後の福島県の産業復興や地域活性化に向けた新たなネットワーク構築を支援



【在京福島県経済人の集いの様子】

### 再生可能エネルギー分野への融資実績

種類	件数(件)	実行金額(億円)
太陽光	207	343
風力	2	44
水力	1	8
バイオマス	2	40
合計	212	437

### ものづくり産業の支援

#### 「東邦・ビジネスマッチング」実績（ものづくり関連企業）

- ▶参加企業10社 マッチング件数37件

#### 協働事業プロジェクト「アクションJAT」

- ▶当行、常陽銀行が橋渡し役となり、産総研・福島再生可能エネルギー研究所と企業の連携を支援

#### 「東邦ものづくりセミナー」の開催

- ▶参加者120名（平成26年7月）



## 起業・創業・若手経営者支援

### 次世代創業支援ファンド・ローン

金融庁「新規融資や経営改善・事業再生支援等における参考事例集」に掲載

～地域経済の活性化・雇用創出を目指すお客さま～

新規創業・  
第二創業

次世代経営者

ベンチャー企業・  
成長分野

地場産業・  
伝統産業等

出資

出資・融資による  
総合的サポート

ご融資

とうほう・次世代  
創業支援ファンド

<取扱開始以降累計実績>

9件/5億円

とうほう・次世代  
創業支援ローン

<取扱開始以降累計実績>

13件/7億円

### 次世代経営者支援体制の構築

#### 復興応援「とうほう次世代経営者倶楽部」

会員数 700名

#### 創設の目的

- ◎ 人脈づくりのお手伝い
- ◎ 復興に向けた情報の提供
- ◎ 経営者としてのスキルアップ支援

#### 「とうほう次世代経営塾」

第一期生 ▶ 32名(うち女性4名)

第二期生 ▶ 27名(うち女性5名)



【とうほう次世代経営者セミナー】



## 2. 多様な資金ニーズへの対応と海外マーケットへの進出支援

### 復興資金の提供

#### 震災関連制度資金の実行額累計

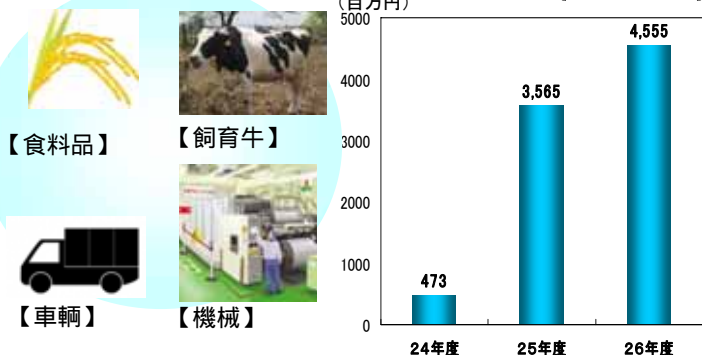
5,400件 / 1,137億円

(震災発生以降～平成27年3月末)

### 動産・債権譲渡担保 (ABL) への取組み

不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資手法  
動産評価アドバイザーを専門部署に配置

＜ ABL 取組実績 (含む予定額) ＞



### クラウドファンディングの活用による取引先支援

投資型クラウドファンディングサービス紹介業務の取扱を開始

資金調達ニーズのあるお客さまに対し、ファンド運営会社であるミュージックセキュリティーズ株式会社様をご紹介

※クラウドファンディングとは、

資金を必要とする事業者がWEB上で個人から小口の出資を募る仕組み。

資金調達と同時に全国に向け事業や製品をPRできる。

### 海外マーケットへの進出支援

海外銀行や各種専門家と積極的に業務提携を実施

＜専門家関連提携策＞

- 【会計・税務・コンサル】 有限責任監査法人トーマツ デロイト・トマツファイナンシャル・アドバイザー
- 【国際物流】 日本通運
- 【貿易保険】 日本貿易保険 (NEXI)
- 【ハラル認証取得支援】 ハラル・ジャパン協会
- 【海外情報提供・コンサル】 大和証券
- 【海外リスクコンサル】 東京海上日動火災保険 三井住友海上火災保険 損害保険ジャパン
- 【海外セキュリティ対策】 ALSOK福島総合警備保障 セコム

【アメリカ合衆国】 千葉銀行ニューヨーク支店 行員派遣(1名)予定

【韓国】 SBJ銀行 (新韓銀行グループ)

【中国】 中国工商银行 福島県上海事務所 行員派遣中(1名)

【ベトナム】 ベトナム銀行

【インド】 インドステイト銀行

【台湾】 中国信託ホールディング

【タイ】 カシコン銀行 行員派遣中(1名)

【フィリピン】 メトロポリタン銀行

【シンガポール】 三菱東京UFJ銀行 シンガポール支店 行員派遣中(1名)

【インドネシア】 バンクネガラインドネシア

海外における商談会の開催 (共催)

「香港ワイン&スピリッツ」@香港 お取引先4社出展

「ワールドビジネスシンポジウム & マッチング2014」@バンコク お取引先4社出展 19

福島から世界へ

### 3. 事業再生支援・事業承継支援

#### 事業再生・経営支援

##### 事業再生支援の実績

＜事業再生の実績累計＞

(先、人、億円)

	企業数	従業員数	融資額
支援協議会	13	1,016	133
地域経済活性化支援機構	3	1,411	114
その他私的再生	24	2,433	303
法的再生	5	1,622	208
<b>合計</b>	<b>45</b>	<b>6,482</b>	<b>758</b>

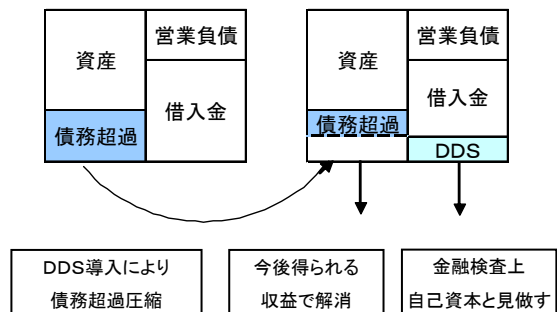
##### 連携先外部機関

地域経済活性化支援機構  
福島県中小企業再生支援協議会  
福島産業復興機構  
東日本大震災事業者再生支援機構  
個人版私的整理ガイドライン運営委員会

##### 資本性借入金(DDS)を積極的に活用

＜累計実績＞ **6件 11億5千万円** (平成27年3月末)

##### ○資本性借入金(DDS)スキーム図



#### 円滑な事業承継の支援

##### 事業承継支援への取組み

営業店と本部が連携し課題解決に向けたサポートを実施  
外部専門機関と連携し、個社毎のサポート体制を構築

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
対応先数	220	264	280	<b>323</b>

##### 後継者問題への対応策等としてのM & A業務の取組み

M & A 関連業務の実績

平成25年度  
相談件数 **55件**

平成26年度  
相談件数 **70件**

##### 経営課題提案型営業の取組みに対する評価

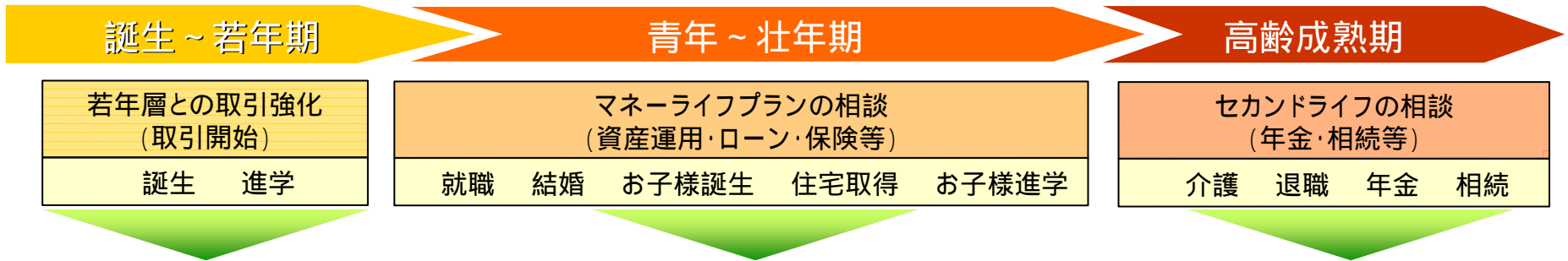
日本M&Aセンター主催「第2回バンクオブザイヤー表彰」(注)において  
最高賞となる“**バンクオブザイヤー(成約実績優秀賞)**”を受賞

(注)企業の営業譲渡や  
資本提携に対する  
取組みが顕著な地方銀行を  
称える表彰

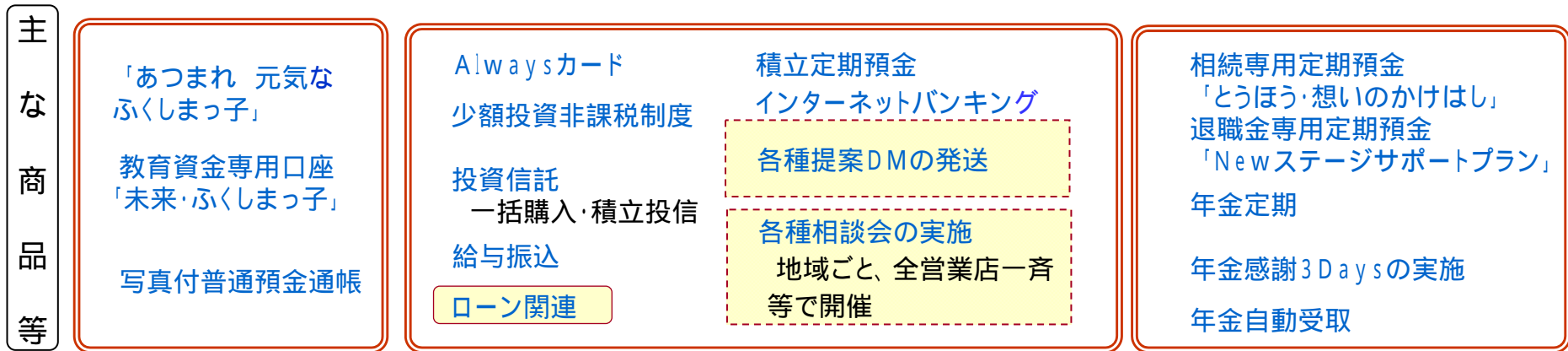


# 4. 個人のお客さまへの取組み ～ 赤ちゃん世代からシニア世代まで～

世代層別の当行メイン化を積極的に推進し、取引の裾野を拡大



お客さまの「赤ちゃん世代」から「シニア世代」まで、ライフサイクルに応じて多様なニーズに応じた商品をご提案



イベント・ベースド・マーケティング (EBM) の導入

< EBMシステム～マーケティングを高度化～>  
◆お客さまのライフイベント・ニーズに合致した複合的なサービスをご提案

(※) イベント・ベースド・マーケティング (Event Based Marketing)

お客さまのお取引などの変化を捉え、最適なタイミングで最良な商品やサービスを提供する営業手法



「LINE@」の運用開始

◆新たな情報発信媒体として「LINE@」を活用した営業戦略を開始

◆若年層との接点拡大を図る



# 5. 個人ローンの取組み

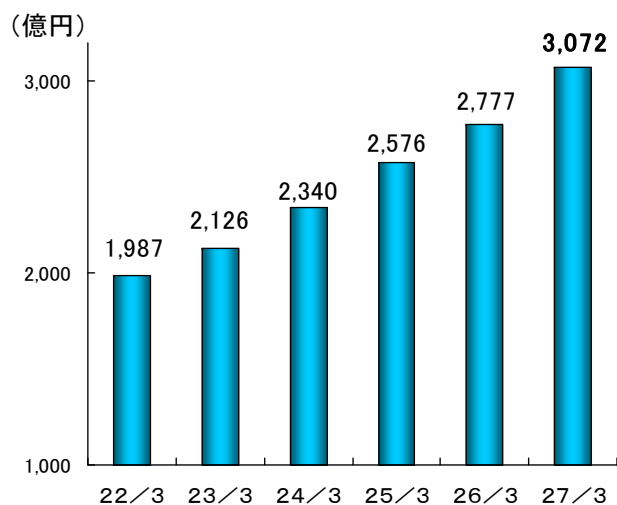
## 個人ローン推進体制の強化



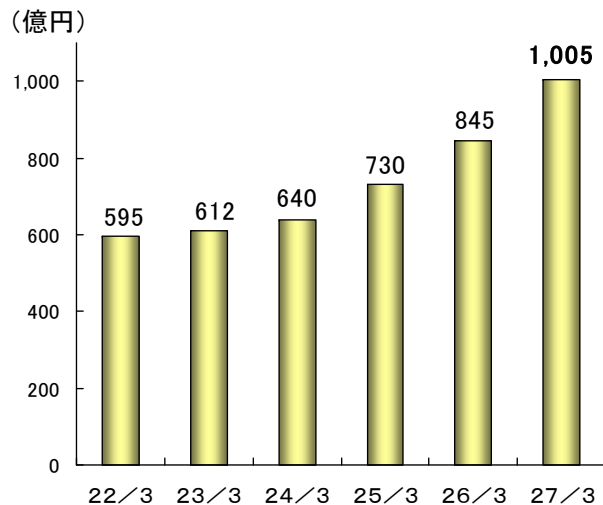
## クロスセル(複合取引)を強化



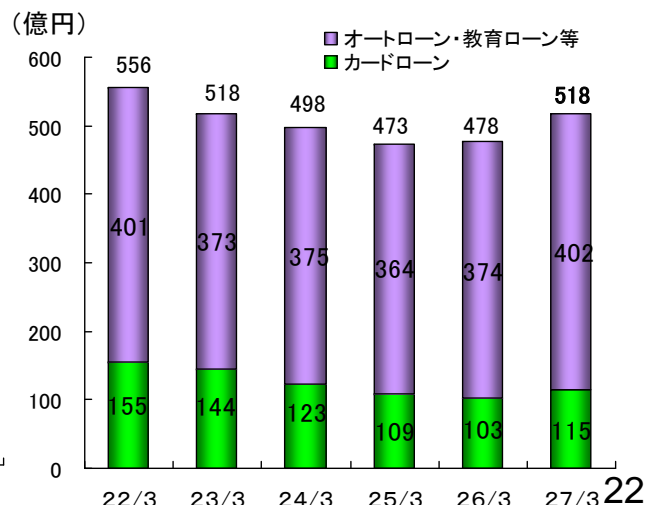
## ローン専門店の個人ローン残高推移



## アパートローン残高推移



## 一般個人ローン残高推移

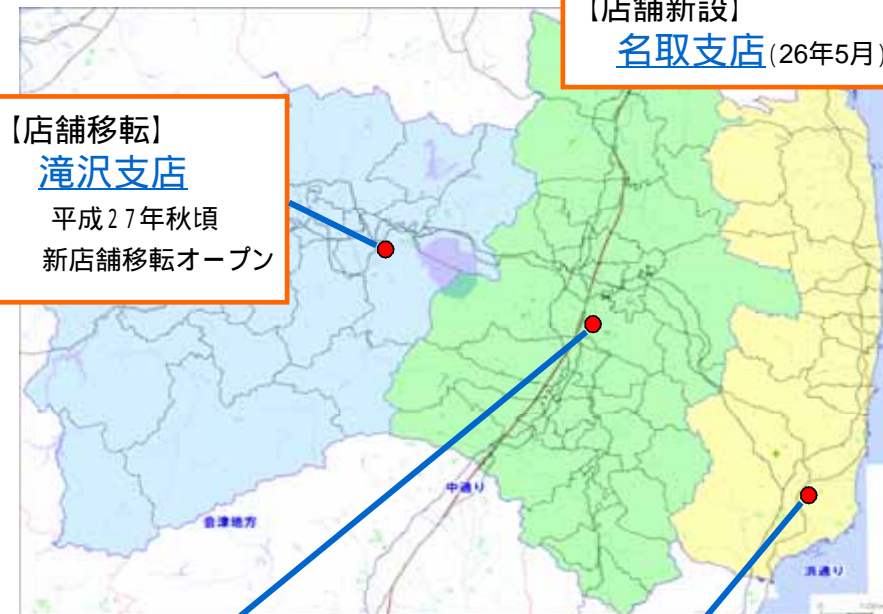




## 6. 店舗戦略と新たなATM戦略

### 店舗戦略

<宮城県内>  
【店舗新設】  
**名取支店** (26年5月)



【店舗移転】  
**滝沢支店**  
平成27年秋頃  
新店舗移転オープン

【店舗建替】  
**郡山中町支店** (26年4月)



【店舗建替】  
**谷川瀬支店** (26年11月)



<土・日営業実施店舗>  
**八山田支店、北福島支店、いわき鹿島支店**  
**郡山東支店、谷川瀬支店**

### ATMサービスの拡充

自行ATM利用手数料**完全無料化**

**ATMは いつでも 誰でも 何回でも 利用手数料 無料!**

**対象となるカード**  
東邦銀行が発行するすべてのカード

**対象となるATM**  
東邦銀行の店舗内・店舗外ATM

**対象となるお取引**  
お預入れ、お引出し、お振込み、お振替え

**ご留意点**

- コーナーにより営業日・営業時間が異なります。
- お振込みの際は別途指定の振込手数料がかかります。
- コンビニATMや提携金融機関のATMにおけるお取引は所定のATM利用手数料がかかります。
- 他金融機関発行カードやクレジットカードについては所定のATM利用手数料がかかります。

### 新型ATM導入



- ▼視覚障がいをお持ちの方に配慮した画面、音声案内
- ▼硬貨の入出金が可能
- ▼偽造カード防止機能強化
- ▼省エネ性能強化

### 移動店舗車の稼働

- ◆避難されているお客さまへの利便性提供  
<営業ポイント>  
**楢葉町役場西側駐車場**  
**いわきニュータウンセンタービル駐車場**
- ◆不測の事態にも金融サービスを提供できる体制整備



## 7. 他行・他業態との連携

サービスの充実、経営の効率化に向け地銀・他業態との連携を積極展開

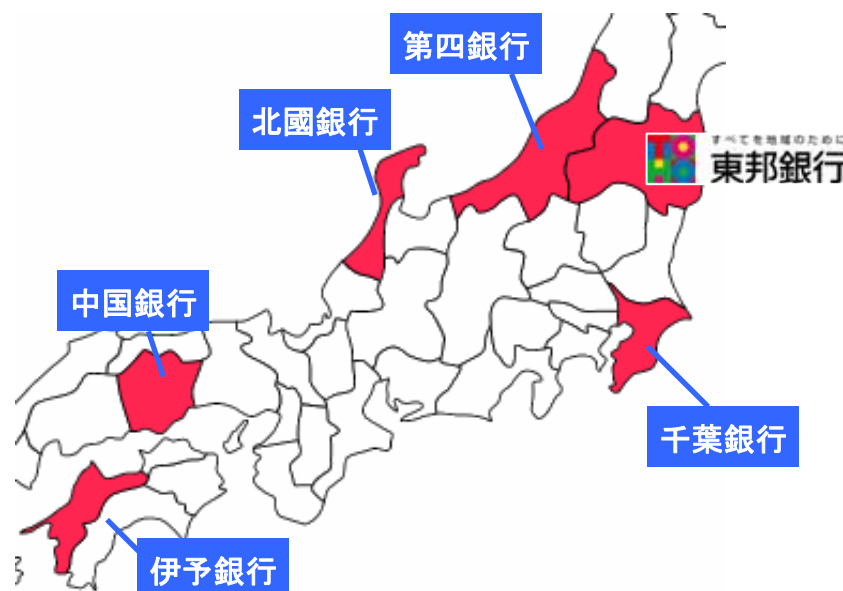
### TSUBASA(翼)プロジェクト

- システム共同化検討  
プロジェクト(平成20年3月～)
- システム領域以外での  
幅広い連携も検討



▲災害時相互協力に関する協定書締結式

### TSUBASA(翼)プロジェクト参加行



#### 【参加行】

当行、千葉銀行、第四銀行、北國銀行、中国銀行、伊予銀行

#### 【主な実績】

- 平成24年4月新営業店システム導入
- 既存サブシステムの共同化・連携検討
- 大規模災害発生時の相互協力協定を締結
- 市場・国際業務の連携強化に関する協定を締結

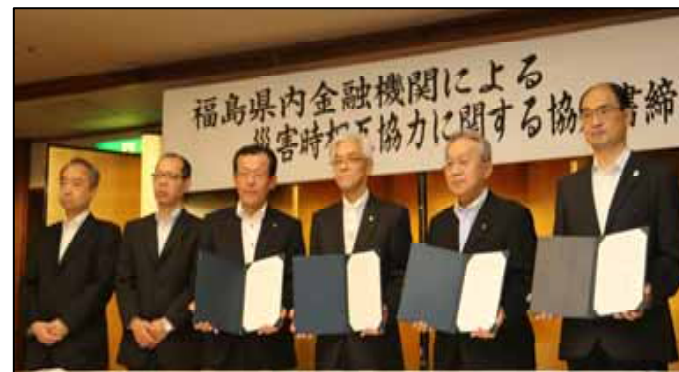
### 県内15金融機関「災害時協定」を締結

業態を超えた連携  
全国初

- 福島県を主な営業基盤とする3地銀と4信用組合、8信用金庫で「災害時相互協力に関する協定書」を締結
- 災害発生時にもお客さまに安心して金融サービスをご利用いただける体制を強化

#### < 協定参加金融機関 >

- 【地方銀行(3)】東邦銀行、福島銀行、大東銀行
- 【信用組合(4)】福島県商工信用組合、いわき信用組合、相双五城信用組合、会津商工信用組合
- 【信用金庫(8)】会津信用金庫、郡山信用金庫、白河信用金庫、須賀川信用金庫、ひまわり信用金庫、あぶくま信用金庫、二本松信用金庫、福島信用金庫



▲災害時相互協力に関する協定書締結式



## 8. 独自の研修体系「とうほうユニバーシティ」

### 人材育成体制の強化

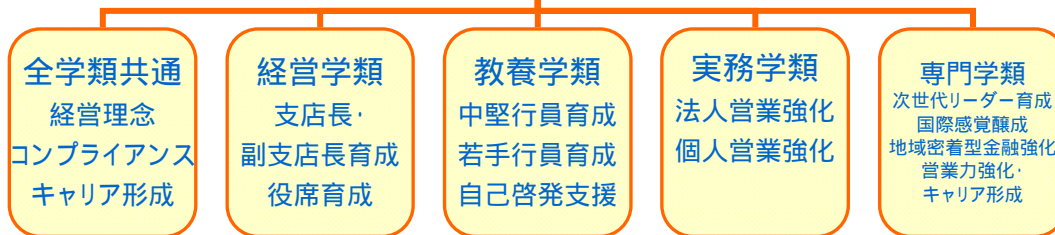
- ◆人事・人材育成機能の連携を一層強化させることを目的に  
人事部と人材育成部を「人事部」に統合(平成27年3月)

### 独自の研修体系「とうほうユニバーシティ」

#### 「とうほうユニバーシティ」

##### 「基本方針」

高い倫理観のある職場風土の醸成に向けた人材の育成  
マネジメント力の強化に向けた人材の育成  
基本業務能力の向上に向けた人材の育成  
営業力の強化とコンサルティング力の向上に向けた人材の育成  
当行の永続的な成長を担う(中長期的な)人材の育成



### 行内研修・行外研修・休日セミナーを開催

- ◆講座数充実、受講者数 (平成26年度実績)

	講座数	のべ受講者数
行内研修・行内留学	138	4,500名
行外研修・行外留学	131	270名
休日セミナー	24	1,200名

### 行外派遣研修等への積極的な派遣

- ◆派遣数は**地方銀行トップクラス** 毎年200名以上派遣

#### 【主な派遣実績】

地方銀行協会研修・留学 大学院  
 大手不動産会社 官民ファンド  
 大手M&A仲介会社 メガバンク等金融機関  
 大手シンクタンク 国、県、市などの官公庁  
 大手再生可能エネルギー関連事業会社

### 海外研修への積極的な派遣

- ◆当行**独自海外研修(米国)**を毎年継続開催(16名参加)  
▶平成18年度～平成26年度派遣累計実績 145名
- ◆地銀協**海外研修(東南アジア)**、  
他社主催海外研修(米国、ヨーロッパ)等に派遣  
▶平成26年度累計 派遣実績 25名
- ◆当行**独自海外研修(ベトナム)**を平成27年4月に初開催  
▶17名派遣

### 大型バスの導入

#### 「とうほう・みんなのドリーム号」

研修や野球部など行内クラブ活動をメインに走行

災害発生時における人員・物資の輸送手段として活用



# 9. 若手と女性、ベテランとシニアの活躍支援 ～ 育児と介護サポート～

## ワーク・ライフ・バランス支援の拡大

### 女性の活躍機会のさらなる創出

- ◆ 女性支店長5名(うち一般店舗2名)、女性副支店長6名
- ◆ 女性役席 約130名  
女性役席者比率13.4% (平成27年3月末現在)

### 事業所内保育施設「とうほう・みんなのキッズらんど」開設



▲オープニングセレモニー



### 厚生労働省 平成26年度「福島労働局長優良賞」受賞

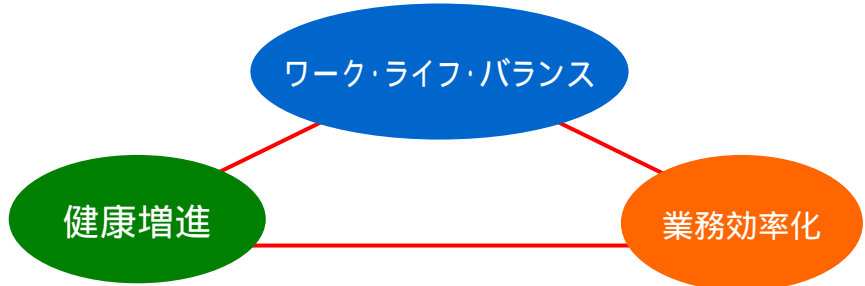
「女性の能力発揮促進に向けた積極的な取組み」が評価



▲「福島労働局長優良賞」表彰式



### 家庭との両立に向けた多様な働き方の構築



業務効率の上がる  
労働時間の“朝型シフト”

毎朝6:30～

法定を上回る  
育児休業3年間

両立のための  
“短時間勤務”  
複数パターンから選択が可能

全国初の取組み

独自の休暇  
“イクまご休暇”

### 70歳までの活躍機会の拡大

60歳から65歳まで

◆ 毎日勤務、ポスト職への登用

65歳から70歳まで

◆ 「シニアサポーター」として活躍

## 10. 地域貢献・CSRへの取組み

### 障がい者雇用への取組み

#### 株式会社 とうほうスマイル

東北の金融機関  
初の取組み

- ◆ハンディキャップを持つ人の  
“自立と社会参加の場の創出”  
を目的に平成24年3月に設立
- ◆銀行本体を含めた雇用者総数  
**67名**（平成27年3月末現在）▲印刷や名刺・帳票作製等の業務を行う職員



▲印刷や名刺・帳票作製等の業務を行う職員

### (公財)東邦銀行教育・文化財団による助成・奨学金事業

#### 文化・スポーツ活動助成事業

- ◆文化・スポーツ活動
- ◆地域の活性化に貢献する文化活動
- ◆高校生対象の文化・教育研究活動

これまでの助成実績  
助成先 約730団体  
助成総額 約1億円

#### 奨学金事業

- ◆大学生等への奨学金事業

これまでの給付実績  
奨学生 約420名  
給付総額 約3億3千万円

### 地域のスポーツ活動への貢献

- ◆市町村対抗ふくしま駅伝



- ◆陸上競技部による陸上教室



### 県営あづま陸上競技場のネーミングライツ取得

名称 『とうほう・みんなのスタジアム』  
期間 平成25年5月～平成30年3月



### 「とうほうの森」づくりの実施

- ◆平成21年度より実施  
している役職員や家族  
による植林活動



### 金融経済教育の推進

#### TOHO親子金融教室

子どもたちに「お金の使い方」「銀行業務」  
について理解を深めることを目的に開催



#### エコノミクス甲子園福島大会

高校生に金融経済の仕組みを  
楽しく知ってもらう目的で開催



#### 寄附講座

- ◆福島大学にて寄附講座を開講  
当行役職員が講師となり  
「地域金融論」について講義
- ◆開講から4年間で60講座実施



# ・新中期経営計画

## 「とうほう“サミット”プラン」

(平成27年度～平成29年度)



# 1. 前中期経営計画の総括

## ■前中期経営計画「東邦」一步一步「計画」の計数目標の実績

7項目中4項目達成

目 標		計画スタート時 (平成24年度)	最終達成状況 (平成26年度)
総預金平残	4兆円	3兆8,980億円	達成 4兆8,785億円
総貸出金平残	2兆5千億円	2兆4,433億円	達成 2兆6,517億円
コア業務純益	120億円以上	95億円	111億円
当期純利益	85億円以上	62億円	達成 98億円
自己資本比率(※)	11%以上	11.09%	10.08%
県内預金シェア	45%以上	45.4%	達成 48.1%
県内貸出金シェア	42%以上	40.0%	40.5%

(※)平成26年3月末より、バーゼルⅢ基準(国内基準行向け)が適用

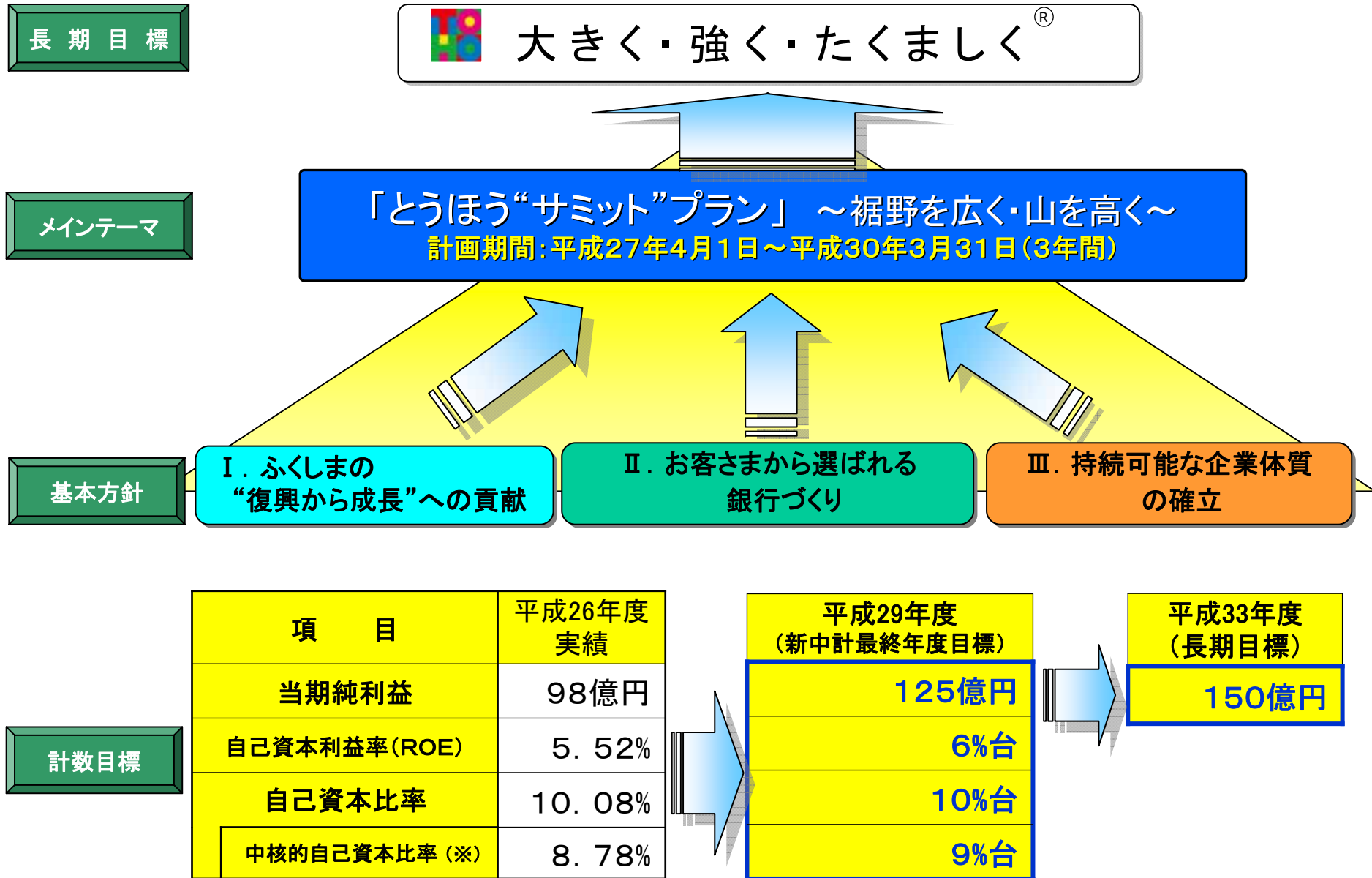
## ■成果

- (1)集まる預金の仕組みづくりにより個人・法人預金が大幅に増加し、総預金平残は計画達成。県内預金シェアは48%まで拡大
- (2)幅広い取組みによる事業性貸出金の増強、住宅ローンの増強により、総貸出金平残は計画達成
- (3)当期純利益はトップラインの強化、有価証券関係損益の拡大や信用コストの低位安定により、計画達成

## ■課題

- (1)ふくしまの復興から成長に向けたさらなる資金提供の強化
- (2)お客さまとの接点拡大・取引の裾野拡大、ゆるぎない営業基盤の確立
- (3)収益構造の変化を見据えた戦略の展開

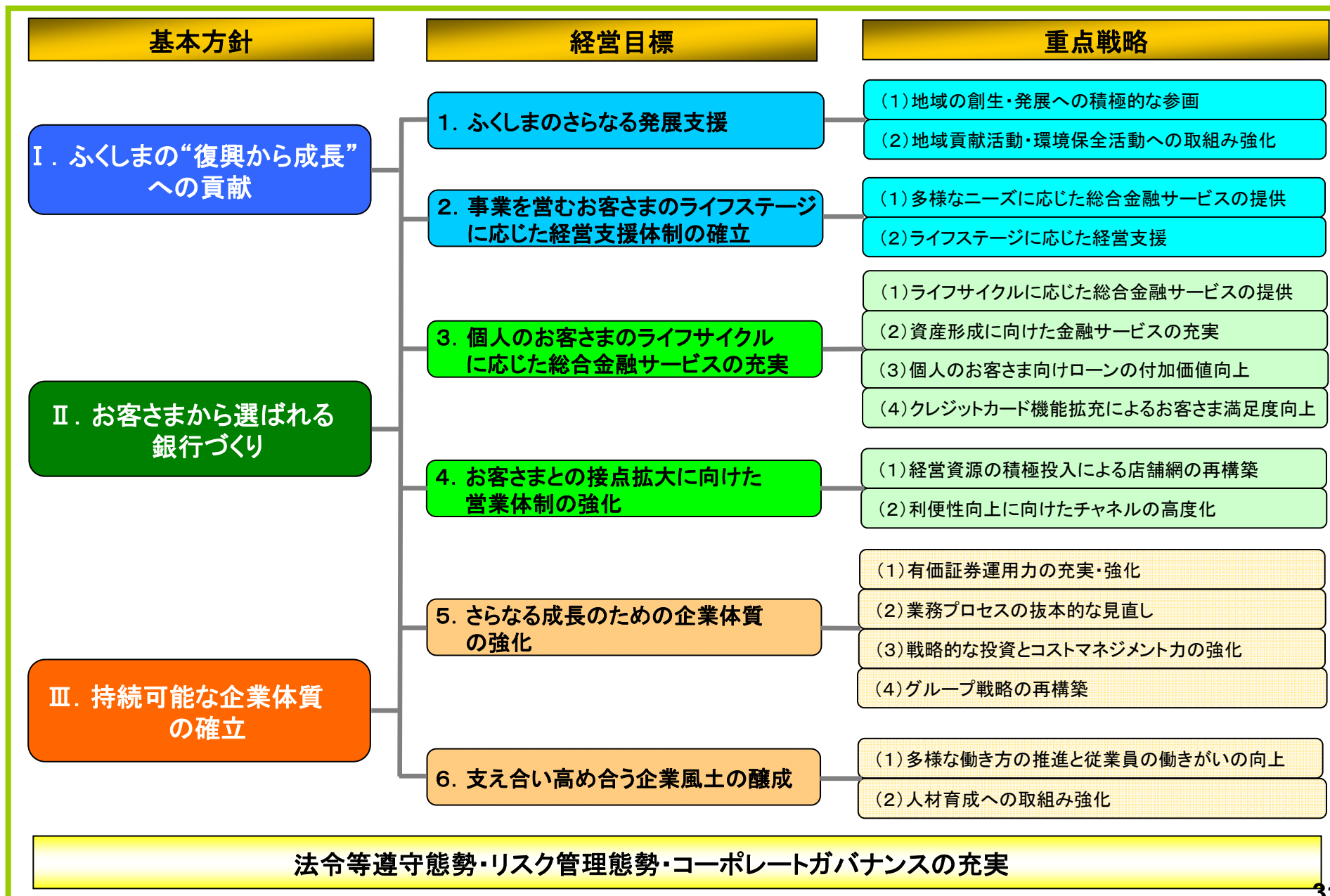
## 2. 新中期経営計画の概要



(※)中核的自己資本は、自己資本から劣後調達を控除したもの



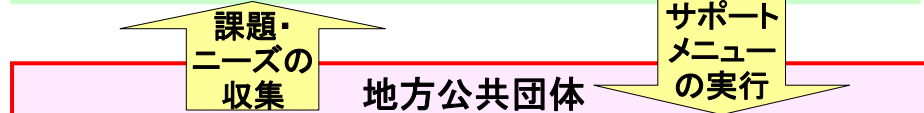
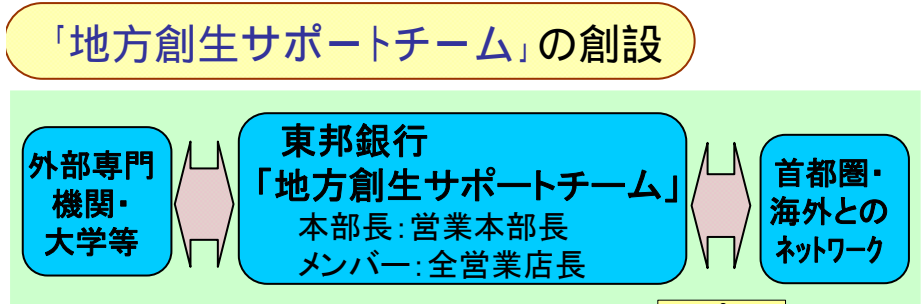
### 3. 計画の体系



# 4. ふくしまの“復興から成長”への貢献 基本方針

## ふくしまのさらなる発展支援

### ふくしまの発展を支援



<p><b>創業支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とうほう次世代経営塾</li> <li>・とうほう起業家応援相談会</li> <li>・クラウドファンディングの活用</li> </ul>	<p><b>企業立地・産業集積</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏担当の設置・活用</li> <li>・在京福島県経済人の集いによる企業誘致活動支援</li> </ul>
<p><b>成長産業支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー分野</li> <li>・医療・介護、アグリ分野</li> <li>・イノベーションコスト構想</li> </ul>	<p><b>移住定住促進</b></p> <p>住宅ローンの金利引下げプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住促進支援金利引下げ</li> <li>・二世帯同居応援金利引下げなど</li> </ul>
<p><b>地場産業支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食・観光関連産業支援</li> <li>・ものづくり産業支援</li> <li>・伝統産業支援</li> </ul>	<p><b>既存ストック活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしまPPP/PFI研究会</li> <li>・公共施設等総合管理計画の策定支援</li> </ul>

### 社会貢献活動

<p><b>地域貢献活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの育成支援強化</li> <li>・高校生の団体活動支援</li> <li>・文化・スポーツ活動支援強化</li> <li>・東邦銀行教育・文化財団を通じた助成事業</li> </ul>	<p><b>環境保全活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植林活動等の継続実施</li> <li>・金融商品を活用した環境保全</li> </ul>
---	--

### CSR活動の裾野拡大



【ふたば未来学園へのユニフォーム贈呈】

キーワード

ふくしまの復興・成長なくして  
東邦銀行の事業継続はありえない

# 4. ふくしまの“復興から成長”への貢献 **基本方針**

## 事業を営むお客さまのライフステージに応じた経営支援体制の確立



外部環境

復興関連大型プロジェクト

福島県内貸出金マーケット  
4兆円以上

### 復興プロジェクトへの積極的関与

#### 新産業金融推進チームの創設

大型プロジェクト（電力関連・公共インフラ関連等）  
の情報収集と積極的な関与

#### 産業調査機能の強化

融資部「融資総合支援室」を新設。産業調査機能を強化  
事業性評価に基づく貸出の実行

### 当行貸出金のシェアアップ

#### お取引先の裾野を拡大

中堅・中小企業取引を強化  
営業の原点回帰、足で稼ぐ営業の徹底

#### 積極的なリスクテイク

低水準の不良債権比率を背景とした更なるリスクテイク  
あらゆる業態との取引を推進

### 経営課題提案型営業<sup>®</sup>

お客さまの経営課題を適切に把握し解決策をご提案  
本部専担部署や外部専門家と連携しサポート

創業・開業期

成長期

成熟期

改善・再生期

創業支援ファンド・ローン

ビジネスマッチング

生産性向上、成長のための新規融資支援・私募債

改善に繋がる新規融資

M&A(買)

M&A(売)

事業承継

計画策定支援

条件変更等支援

再生整理、DDS等

ライフステージに応じた  
総合的な支援

## 5.お客さまから選ばれる銀行づくり 基本方針

「赤ちゃん世代からシニア世代」のニーズに合致したご提案

誕生～若年期

青年～壮年期

高齢成熟期

### 預金・為替取引

「集まる預金の仕組み」づくりの強化  
「赤ちゃん世代からシニア世代」の  
ニーズに合致した商品・ご提案



### 個人ローン

ローン商品の付加価値向上  
非対面契約商品の拡大  
ローン事務の効率化



## クロスセル

### Alwaysカード

非対面チャネルの強化  
加盟店との連携強化による利用促進  
新たなラインナップの導入



### 金融商品取引

コア・サテライト運用のご提案  
商品ラインナップの拡充  
お客さまの裾野拡大、NISAの活用



### 店舗・ATM戦略

- 成長エリアへの進出・店舗移転
- 休日営業店舗の拡大
- ATM営業時間の拡大
- ATMの機能強化
- 移動店舗車による復興支援

### 非対面チャネル

- 個人向けインターネットバンキングの機能拡充
- 法人関連資金決済のメイン化
- セキュリティ強度の向上

### マーケティング

- ビッグデータの有効活用
- EBM・CRM・営業支援タブレットの連携強化
- ローン受付機能強化

### CS向上

- お客さまの声を活かす仕組みの強化
- CSインストラクターの育成
- CS向上・改善・定着

# 6. 持続可能な企業体質の確立 基本方針

### 有価証券運用力の強化

利息配当金の安定確保
運用資産・手法の多様化

総合損益絶対額の確保

### 業務プロセスの抜本的な見直し

業務改革プロジェクトの組成

各主管部における施策

営業店・本部各部からの声  
 女性活躍推進PTの意見等

業務改革プロジェクト

他行先進事例・外部情報

営業人員  
の創出

お客さま負担  
の軽減

### 戦略的な投資とコストマネジメント力の強化

店舗

研修センター

事務センター

社宅・寮

IT関連

資産の戦略的活用  
と質的向上

通常経費の削減・管理強化 ⇒ 前向きな投資

### 多様な働き方の推進と従業員の働きがいの向上

支え合い高め合う企業文化の醸成

従業員の活躍機会の提供

“適材適所”の考え方

<b>【従業員の活躍支援】</b> ○ワークライフバランスの継続支援 ○現状にあった人事制度に見直し	<b>【健康増進・福利厚生】</b> ○データヘルス計画の策定 ○福利厚生制度の見直し・充実
<b>【人事管理レベルアップ】</b> ○適材適所の配置 ○多様な人材が活躍できる組織に	<b>【人材の採用】</b> ○多様な人材の採用（新卒・キャリア） ○登用制度等の積極活用
<b>【人材育成への取組み強化】</b> ○次世代を担う人材の育成 ○専門能力向上 ○女性活躍支援研修	

### グループ戦略の再構築

大胆なグループ  
資本政策

新たな事業領域の  
拡大検討

グループ企業価値  
向上

東邦リース(株)、東邦信用保証(株)、東邦情報システム(株)  
 (株)東邦カード、(株)東邦クレジットサービス、(株)とうほうスマイル



本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご留意ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

東邦銀行 総合企画部

TEL 024-523-3131

FAX 024-524-1425

---